



PEGASUS®

HG Series

W3600P series
Models: HG3A

取扱説明書
定規開閉装置

取扱説明書

定規開閉装置

このたびは、ペガサス省力装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

省力装置をご使用になる前に、本書を十分にお読みいただき、内容を理解してから、正しく安全にご使用くださいますよう、お願い申し上げます。

お読みになった後、本書は、必要なときにすぐ取り出せる場所に保管してください。

目次

1. はじめに	1
2. 警告表示	1-2
3. 安全対策	2-3
4. 各使用段階における注意事項	3-4
装置の用途と性能	5
セットアップ	
各部品の取り付け及びエアチューブ配管	6
ガイドローラの取り付け	7
基本調節	
ガイドの調節	8

安全のために必ずお読みください

1. はじめに

- 本書は、当省力装置を安全に使用するための取扱説明書です。
- 当製品を使用する前に、必ず本書を読み、省力装置の操作・点検・整備・保全等の方法を十分理解したうえで、ご使用ください。
- 工業用マシンは縫製作業上、使用者は針などの運動するマシン部品の至近距離で作業を行うため、運動するマシン部品に接触してしまう危険性が常に存在していることを認識しなければなりません。
このため安全を確保するためには、当社による安全な製品の供給と、使用者による安全な正しい取り扱いが不可欠です。
お客様において安全対策が必要なものもいくつかありますので、マシンをお使いになるすべての関係者が本書とマシンの取扱説明書を合わせて熟読され、必要な安全対策を実施したうえで、省力装置を十分ご活用いただくようお願いいたします。

2. 警告表示




当社省力装置および本書には、省力装置を安全にご使用いただくために、警告表示を危険の程度により使い分けています。これらの内容を十分に理解し、指示を必ず守ってください。

警告ラベルは、常にはっきり見えるようにしておいて下さい。

警告ラベルがはがれたり、汚れた場合は、新しいラベルと交換してください。

交換用ラベルが必要な場合は、当社営業所までご連絡ください。

注意喚起シンボルとシグナル用語

	危険	誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷事故が発生する可能性がきわめて高い危険。
	警告	誤った取り扱いをしたときに、状況によっては死亡または重傷事故に結びつく可能性がある危険。
	注意	誤った取り扱いをしたときに、軽傷または中程度の傷害および物的損害のみの発生が想定される危険。

図記号の説明

	必ず指示内容に従い作業を行ってください。
	誤った取り扱いをしたときに、感電する可能性があります。
	誤った取り扱いをしたときに、手や指などのケガの原因になります。
	誤った取り扱いをしたときに、発火する可能性があります。
	絶対に行わないでください。
	修理時や調整等のメンテナンス作業の発生時や、落雷の可能性がある場合、電源プラグを電源供給元のコンセントから必ず抜いてください。
	必ずアース線を接続してください。
	誤った取り扱いをしたときに、機械に手や指などが挟み込まれ、傷害の原因になります。
	高温による火傷等の危険があります。
	ご使用前にお読みください。将来の参照用に保管してください。

3. 安全対策

①用途、目的

当社省力装置は、縫製業における品質や生産性の向上を目的としてご使用していただくように開発された商品です。
したがって、上記目的に反した用途には絶対にご使用にならないでください。

②使用環境

当社省力装置は、ご使用になる環境によっては、装置の寿命や機能・性能・安全性に悪影響を及ぼす場合があります。



安全のために、下記の環境条件でのご使用はお避けください。

1. 高周波ウェルダ等ノイズを発生するものの近辺。
2. 薬品の蒸気が発散している空気中や、薬品に触れる場所での使用・保管。
3. 屋外や高温な場所、直射日光が当たるところ。
4. 省力装置に悪影響を及ぼす、雰囲気温度や湿度が多いところ。
5. 電圧変動が定格電圧の±10%を超えるところ。
6. 電源容量が使用するコントローラ・モータ仕様の容量を、十分に確保できないところ。
7. エア供給量が使用する省力装置の容量を十分に確保できないところ。
8. 省力装置が水で濡れるところ。

③安全対策



(1) 保守点検、修理時の安全確保

●省力装置の検査・修理・清掃等のメンテナンス作業を行うときにはミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、ミシンペダルを踏んでもミシンが動かないことを確認してから、作業を行ってください。

ただし、ミシンに電源を投入中に作業を行う必要があるときは、ミシンの不意の動きまたは、使用者の誤動作による危険を防止するための安全作業手順を定めて、遵守してください。

●通常の保守点検・修理は、十分に省力装置及びミシンのメンテナンス訓練を受けた方のみが行ってください。



●お客様独自の判断に基づく改造や変更は行わないでください。

※改造や変更が必要な場合は、販売店もしくは当社営業所にご相談ください。



(2) 運転前の点検事項

●省力装置を操作するときは、始業前にミシンヘッド・ミシンユニット・装置本体について点検し、損傷や機能不良がないことをチェックしてください。

万一異常を認めるときには、直ちに修理、その他の必要な措置をとってください。

●事故防止のため、安全カバー及び保護用ガードが取り付けられていることを確認してください。必ず安全カバー及び保護用ガードを取り付けてご使用ください。



(3) 教育、訓練

●事故防止のため、ミシンヘッドまたはミシンシステムのオペレータや保守・修理等を行う要員は、作業を安全に行うための適正な知識と技能を有することが必要です。

そのためには、管理者は事前にこれらの要員の教育計画を立案し、実施する必要があります。

4. 各使用段階における注意事項

注意

①開 梱

工場において箱（及びビニール袋）に梱包（包装）して出荷されています。箱（及びビニール袋）に印刷されているロゴ等の表示から、上下を確認して、上から順序よく開梱してください。

注意

②据え付け、準備

注意

エア配管

1. ジョイント（継手）にチューブを接続するときは、電源スイッチは必ずOFFにした状態で行ってください。また、エア源への接続は、その他のエア配管を確実に終えた後に行ってください。
2. ジョイント（継手）にチューブを接続するときは、確実に差し込んで固定してください。
3. チューブは使用中に無理な力が加わらないようにしてください。
4. チューブを過度に曲げないでください。
5. 必要に応じて固定位置を工夫したり、カバーを設ける等、チューブを保護してください。
6. チューブを固定するときには、絶対にステーブルを使用しないでください。破損の原因になります。

警告

コードの接続



1. 電源コードの接続を行うときは、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて作業を行ってください。
2. 電源中継コードが使用する電源電圧に合っていることを、電圧指示マークで確認してください。間違った物を使用すると部品の破損や火災を引き起こす原因になります。
3. コードは使用中に無理な力が加わらないようにしてください。
4. コードを過度に曲げないでください。
5. 作動する機械部分（例えばプーリーやVベルト）の近くのコードは、最小25 mmの距離を取って接続してください。
6. 必要に応じて固定位置を工夫したり、カバーを設ける等、コードを保護してください。
7. コードを固定する時は、絶対にステーブルを使用しないでください。破損や漏電・火災の原因になります。

接地

1. 接地方法は、ひとつのミシンシステムで専用接地とし、他の機器の接地とは別系統にしてください。
2. ミシンヘッドの指定箇所に、確実に接地を行ってください。




警告

③操作前の注意

1. 電源を投入する前に、コード類(ケーブルやコネクタ)やチューブに損傷や脱落・緩み等の外観上の異常がないことを確認してください。
2.  電源を入れる際は、針の付近に手や体を絶対に近づけないでください。
3. 省力装置の操作にあたっては、適切な訓練を受けた使用者が、本書及び仕様説明書の内容を十分理解したうえで、ご使用ください。
4.  危険表示や警告表示の内容について「2. 警告表示」の項を熟読してよく理解し、必要に応じて使用者に対する安全教育を行ってください。


警告

④操作及び取り扱い上の注意

1.  運転中は押え周辺は危険です。手や体を近づけないようにしてください。
2. 本機の内部には水等の液体や金属類が入ると危険ですので、異物が入らないように注意してください。
3. 省力装置の操作にあたっては、機械に巻き込まれないような服装でご使用ください。
4.  省力装置周辺には、道具や工具、その他縫製に必要な物を置かないでください。
5. 事故防止のため、安全カバーを取り付けた状態でご使用ください。
6. 省力装置がエア式の場合は、エアフィルタの掃除やドレンの排出を定期的に行ってください。ドレンが溜りすぎると電磁弁やエアシリンダの中に流れ込み、故障の原因になります。
7. ミシンテーブルから離れる時は、必ず電源を切ってください。
8. 省力装置に異常があったときは、すぐにミシンの使用をやめて電源を切ってください。直ちに点検・修理、その他の必要な処理をとってください。
9.  メスの刃先で、手や指を切る危険がありますので、細心の注意を払って作業を行ってください。

注意

⑤保守、点検、修理

1. 保守・点検・修理の作業は特別に訓練を受けた人が本書の内容を理解したうえで、作業を行ってください。
2. 省力装置に関する日常および定期点検は、本書に従って確実に行ってください。
3. 省力装置の修理や部品交換は、当社の純正部品をご使用ください。不適切な修理・調整および非純正部品による事故に対しては、当社は責任を負いません。
4.  お客様独自の判断に基づく省力装置の改造は行わないでください。改造によって発生した事故に対しては、当社は責任を負いません。
5. 保守・点検・修理の作業終了後は、電源投入による危険がないことを確認してください。
6. トラブルを防ぐために使用前後は、必ずほこり等の汚れを拭き取ってください。
7. 安全カバーを点検・修理等で外した場合は、作業終了後、必ず元通りに取り付けてください。

装置の用途と性能

HG3A 装置は、Tシャツ・ポロシャツなどの丸物裾伏せ縫い工程にご使用できます。

エアヘミングガイドが縫製中も折り幅を一定に保つことができますので、オペレータは折り幅を気にしないで縫製作業に専念することができます。

高度なテクニックの必要な縫い付け作業が簡単に行えて、縫製品の仕上がりを均一にすることができる装置です。

セットアップ
メカニクレベル

各部品の取り付け及びエアチューブの配管

⚠ 警告

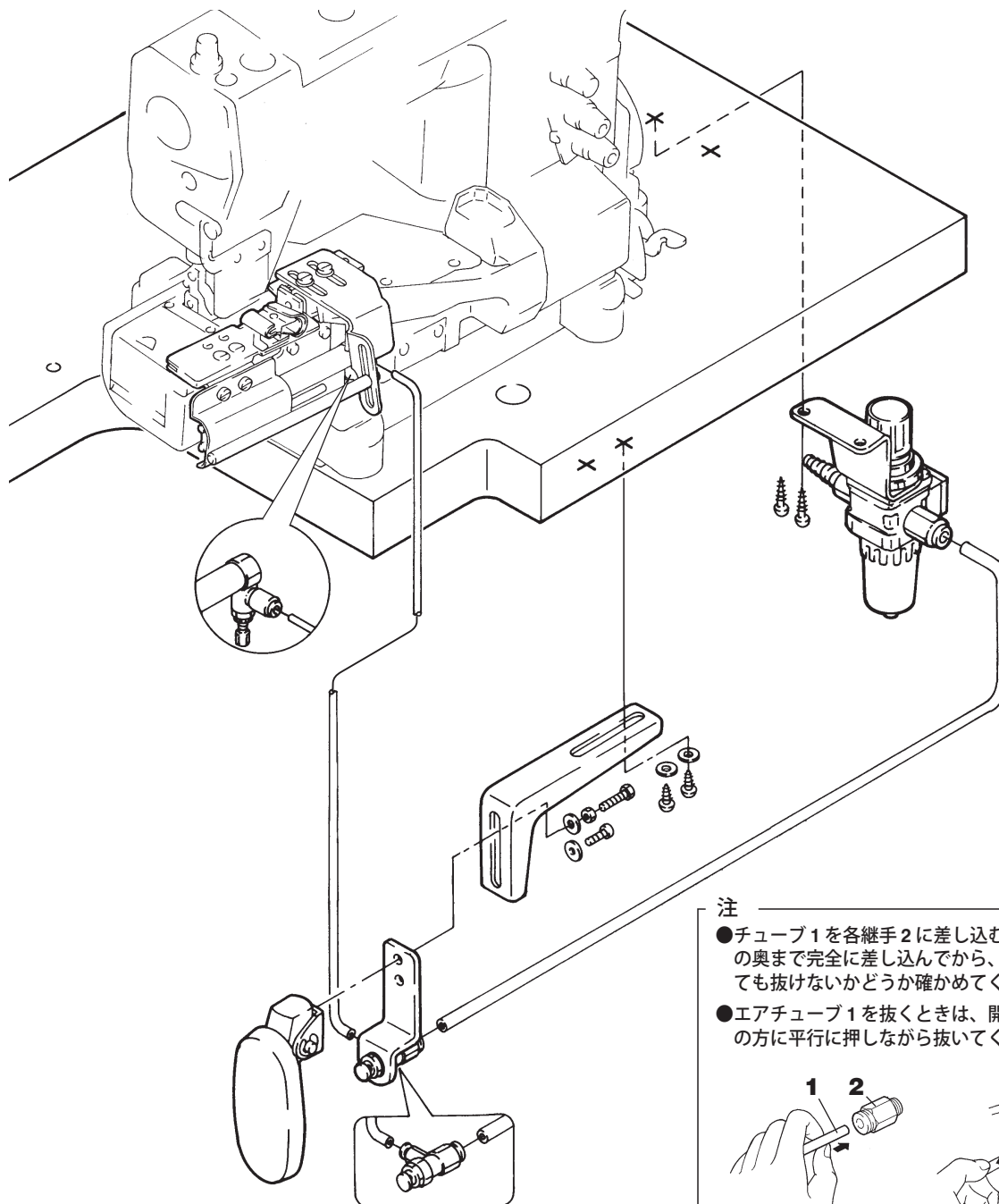
⊘ 接続方法を間違えますと、誤動作を起こして危険な場合があります。また、ミシンの損傷を防ぐためにも、配管を十分に確認してください。

⚠ 注意

⚠ 配管を行う時は、必ずミシンの電源スイッチ及びエアコンプレッサからの圧搾空気の供給を切断してから、専門技術者が行ってください。

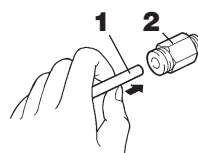
⚠ エア源（エアコンプレッサ）への接続は、全てのエア配管を確実に終えた後に行ってください。

図を参照して、各部品の取り付け及びエアチューブの配管を行ってください。

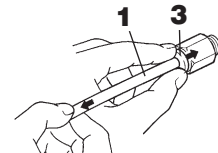


注

- チューブ 1 を各継手 2 に差し込むときは、接続口の奥まで完全に差し込んでから、チューブを引っても抜けないかどうか確かめてください。
- エアチューブ 1 を抜くときは、開放リング 2 を奥の方に平行に押しながら抜いてください。



差し込むとき



抜くとき

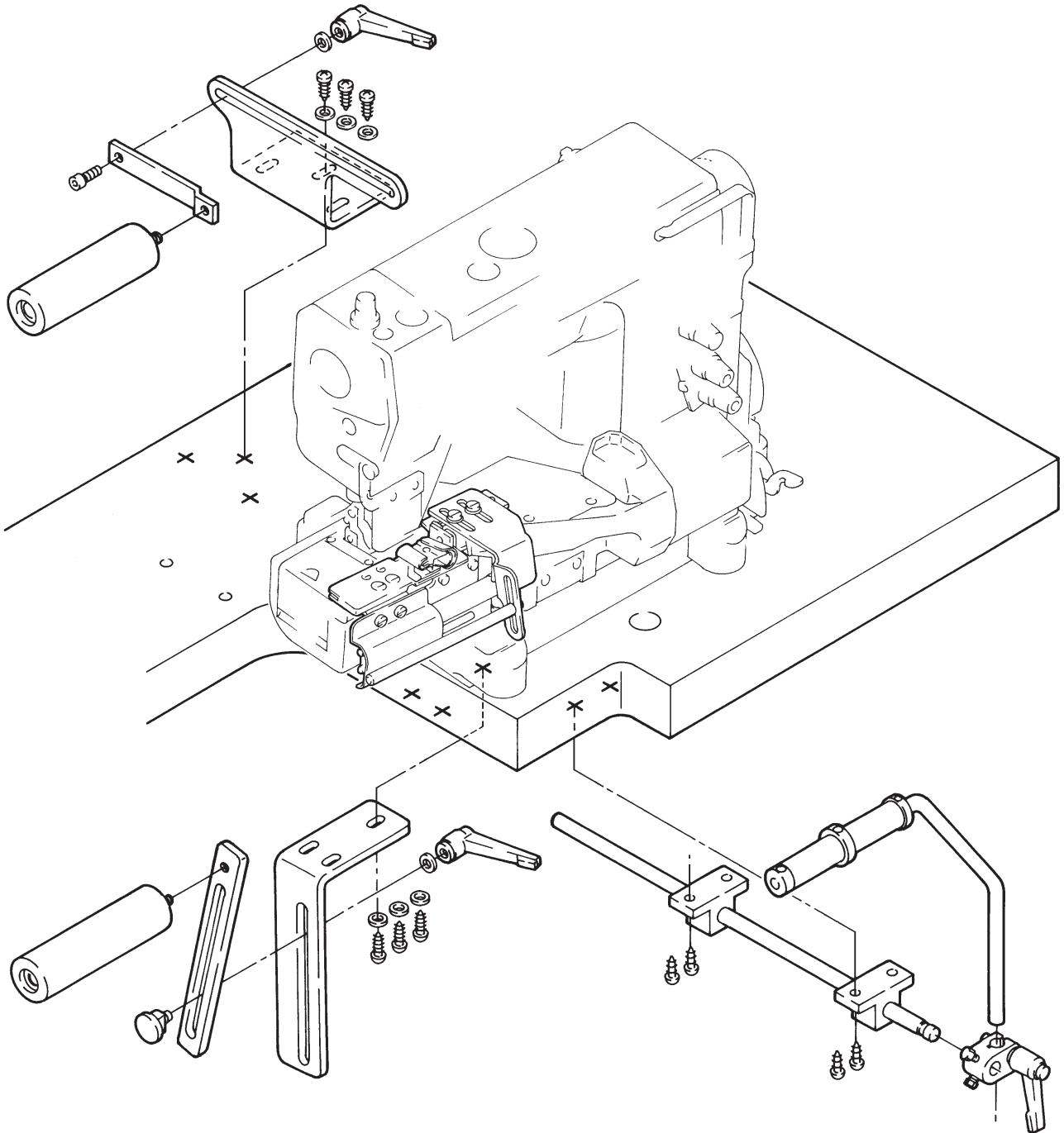
セットアップ
メカニクレベル

ガイドローラを取り付け

⚠ 注意

👤 ガイドローラを取り付ける時は、必ずミシンの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、専門技術者が行ってください。

下図を参照して、ガイドローラを取り付けてください。



基本調節

メカニックレベル

ガイドの調節

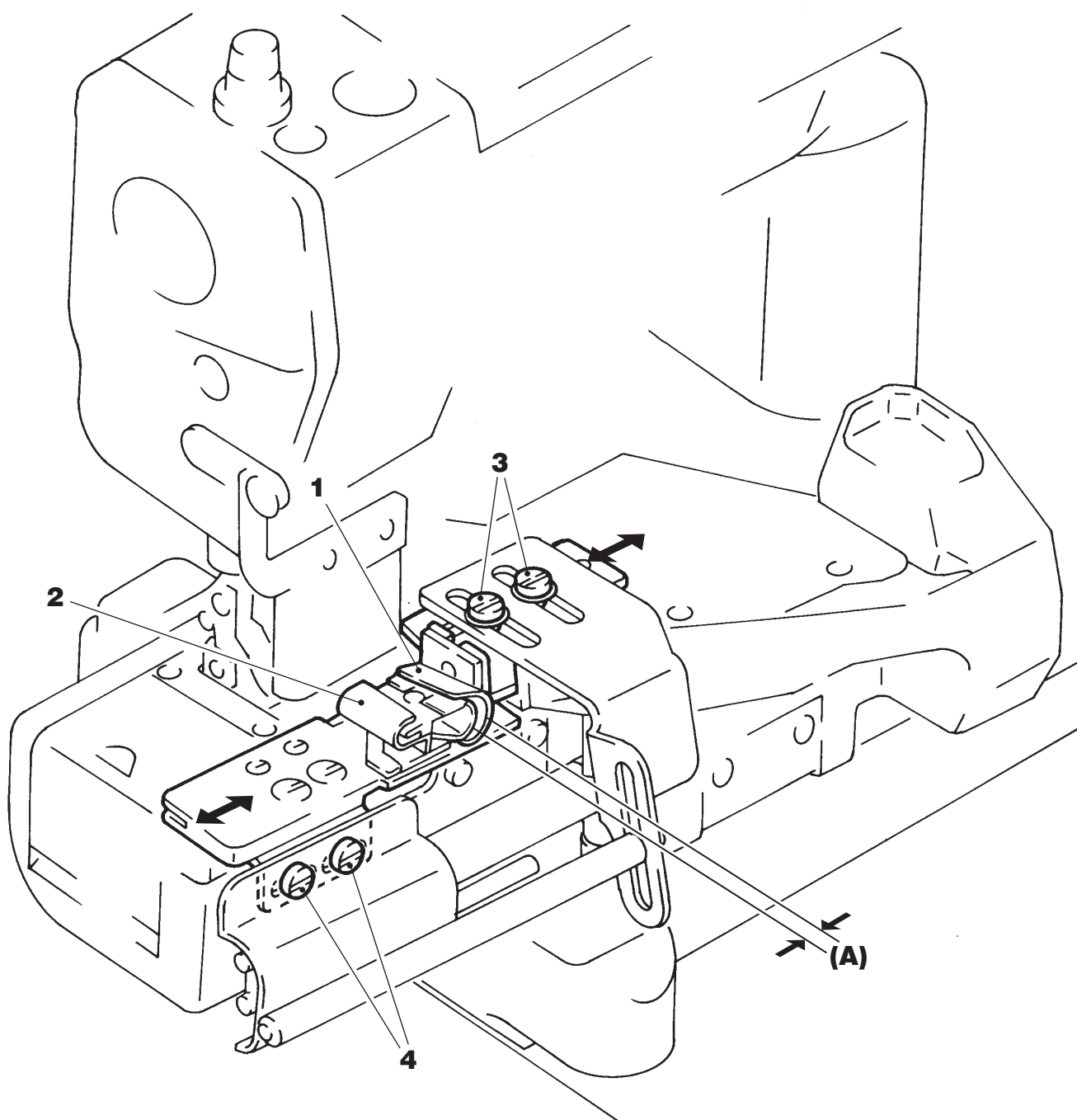
⚠ 注意

⚠ ガイドの調節を行う時は、必ずミシンの電源スイッチ及びエアコンプレッサからの圧搾空気の供給を切断してから、専門技術者が行って下さい。

右ガイド **1** を調節するときは、ネジ **3** を緩めて行ってください。

左ガイド **2** を調節するときは、ネジ **4** を緩めて行ってください。

- ご使用の生地に対して **(A)** 寸法が狭すぎると、ガイドへ生地を挿入しにくくなります。
- ご使用の生地に対して **(A)** 寸法が広すぎると、折り幅が安定しなくなります。



株式会社PEGASUS

株式会社PEGASUS

本社 〒 553-0002 大阪市福島区鷺洲 5-7-2

TEL : (06)6458-4739 FAX : (06)6454-8785

PEGASUS CO., LTD.

PEGASUS CO., LTD.

5-7-2, Sagisu, Fukushima-ku, Osaka, 553-0002, Japan

Phone : (06)6458-4739 Fax : (06)6454-8785

Cat. No. 9B3167A00009 December 2023

© 2023 PEGASUS CO., LTD.

この取扱説明書に記載されている内容は、改良のため予告なく変更することがあります。